

さいか

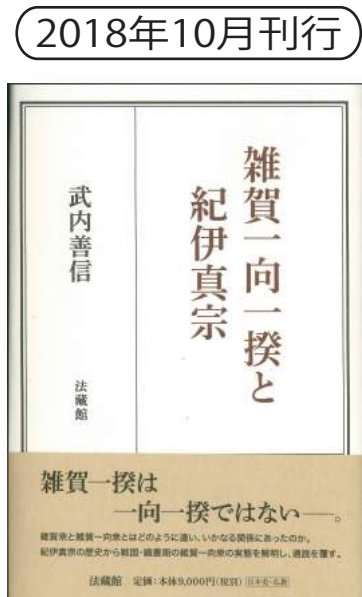
雑賀一向一揆と紀伊真宗

日本史・仏教

たけうち よしのぶ

武内善信著

▼A5判・上製カバー・三八六頁・本体九、〇〇〇円＋税



雑賀一揆は一向一揆ではない。紀伊真宗の歴史を探究し、戦国・織豊期の雑賀一向衆の実態を解明して、雑賀一揆における真宗勢力の位置付けや「石山合戦」における動向を考察。

【目次】

まえがき―本書の課題と構成

第Ⅰ部 戦国・織豊期の紀伊真宗

第一章 紀伊真宗の開教と展開

―蓮如期を中心に―

補論1 蓮如筆「紀伊国紀行」の検討

第二章 紀伊真宗と被差別民

―実如期の紀伊真宗を中心に―

補論2 「被差別部落一向一揆起源説」の実証的検討

―紀州那賀郡井坂・蓮乗寺文書について―

第三章 雑賀における御坊の成立と変遷

補論3 戦国期の鷺森寺内と宇治

第Ⅱ部 雑賀衆と雑賀一向衆

第四章 雑賀一向衆の実態

―「雑賀一向衆列名史料」の検討―

第五章 雑賀衆と雑賀一向衆

補論4 戦国期における雑賀五組の境界

第Ⅲ部 「石山合戦」と雑賀一向一揆

第六章 天正三年の雑賀年寄衆関係史料

第七章 天正六年の雑賀志衆関係史料

第八章 雑賀衆と「石山合戦」

補論5 秀吉の朝鮮侵略における降倭部將沙

也可と「雑賀孫市」

―鈴木孫一一族のその後―

初出一覧

あとがき

索引

◆著者略歴

一九五四年和歌山県生まれ。一九七六年同志社大学文学部(文化史学専攻)卒業。同大学院法学研究科(政治学専攻)博士課程後期満期退学。和歌山市立博物館を経て、現在和歌山市和歌山城整備企画課学芸員。南方熊楠研究会会長。浄土真宗本願寺派善勝寺住職。著書に『闘う南方熊楠』(単著、勉誠出版、二〇一二年)、『南方熊楠珍事評論』(共編著、平凡社、一九九五年)、論文に『新仏教徒・毛利紫庵の思想と行動』(『同志社法学』五九―二、一九八六年)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
武内善信著	
法藏館	
本体九、〇〇〇円＋税	
雑賀一向一揆と 紀伊真宗	
ISBN: 978-4-8318-6250-1 C3021	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp